

講師紹介

畠山 重篤(はたけやま しげあつ)氏



NPO法人『森は海の恋人』代表

京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授

牡蠣養殖業を営む。豊かな海を取り戻すために、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動を続ける。また子どもたちを養殖場に招き、環境教育のための体験学習を行っている。

1994年朝日森林文化賞

2000年第6回環境水俣賞

2004年第52回日本エッセイスト・クラブ賞

などを受賞。

職歴・経歴

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。

海を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることの大切さに気づき「牡蠣の森を慕う会」を結成。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流の室根山で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動をすすめて17年目になる。仙台市内の中学校でも野外活動などにおいて、この植林活動を取り入れてきた学校がある。

この活動は、小・中学校の教科書にも紹介されており、同時に、環境教育の手助けとして上流域の子どもたちを養殖場に招く体験学習を続け、招いた子ども達は7000人を超える。2003年に緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰。2004年に宮沢賢治イーハトーブ賞受賞。2005年には、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授にも就任する。

講演の内容

“森は海の恋人”と題した講演では、長靴を履いた漁師の視点から、海や、森、川の状態、そして地球環境を語る。森に木を植えることは人の心に木を植えることと同じ、環境問題は結局は個人の生き方の問題と話す講演は、多くの指針を含むものとして貴重である。

著書

『森は海の恋人』(文藝春秋)

『リアスの海辺から』(文藝春秋)

『日本<汽水>紀行』(文藝春秋)

『漁師さんの森づくり』(講談社)

『カキじいさんとしげぼう』(講談社)

『牡蠣礼賛』(文藝春秋)